

令和4年度

1・2月ころばん体操出前講座

講話『家で「いい時間」を過ごす』訪問看護ステーションさくら 所長 畑中 勇二

どんな状態の人も自宅で暮らしたいと思えば家で過ごせる手段があります。国も、医療費や介護費の出費を抑える為に在宅医療の体制づくりをすすめています。訪問看護は、医療や介護が必要になっても自宅で過ごしたい人のご希望に沿って24時間365日必要に応じて駆けつけます。自宅に訪問して健康状態のチェックやリハビリや入浴の介護、認知症の方の精神的な援助、お薬が管理できない人の援助を行っています。ご家族で看取るためのサポートをして、ご家族だけで見守りながら亡くなるケースが多いです。癌の患者さんは最後まで痛みを訴えるイメージがありますが、薬も開発されて痛みをかなり緩和して自宅で過ごすことが楽になっています。在宅医療は病気と闘うのではなく病気のその人に寄り添い、見守る医療です。

訪問看護は、～安心、お守り、訪問看護～と覚えてください。自宅という特別個室にいて必要な時に看護師さんが駆けつけるというイメージで訪問看護を知っていただきたいと思います。

田中中村公民館 令和5年1月18日（水）13:30～14:30 参加者 計24名(男性5名・女性19名)



- ・「医師も看護師も自宅にきて見てもらえるのはいいよね・・・安心だよね・・・」
- ・「いつか自分も最期の時が来るんだよね・・・なんかいやだなあ・・・」
- ・家族が最期の時に点滴をしてもらっていましたが、本当に苦しそうにして亡くなったの覚えています。
- ・兄弟が抗がん剤を最期の時に使われました、あっという間に状態が悪くなって亡くなりました、今日話を聴いてよく理解できました。なんか心につかえていたものがすっとしました。今日話を聴けて良かったです。もっとたくさんの人にこんな話をしてほしいと思います。

平江公民館 令和5年2月13日（月）10:45～11:45 参加者 計29名(男性3名・女性26名)

いつまでも自宅で暮らしていきたいですか・・・ 8割の挙手がありました
最期は自宅で亡くなりたいたい・・・「まだそんなこと考えたことがないわー」
ピンピンころりで亡くなりたいたい・・・ほぼ全員が素早く挙手されました。
「夫の介護で訪問看護を利用しました」 今日の話の通りでした
マイライフノートはもう書いています。
色々訪問看護の事が知れていい話でした



八房公民館 令和5年2月21日（火）14:00～15:00 参加者 計19名(男性5名・女性14名)



- 「いつまでも自宅で暮らしていきたい」・・・3割ほどの方の挙手がありました。
- 「一人暮らしだから、家でずっと暮らしていくにはちょっと考えないといけないなあ・・・」
- 「最期は家で亡くなるのも一人暮らしで出来るかなあ・・・」
- 自宅で介護してほしいけど、自分達は介護される側だからそうなるか不安だと思います
- まだ元気で体操ができる位だから、介護の事とか考えていなかった。
- 訪問看護についてはよくわかったがはやり費用について気になるので教えてほしい。